

データセンターネットワーク自動化の現状

Analysys Mason社はジュニパーネットワークスの協力を得て、2022年第4四半期にオンラインアンケートとインタビューを通じてグローバルな調査を実施し、データセンターネットワーク自動化の現在の状況を評価しました。アンケートの結果から、データセンターの自動化のレベルは現在のところ限定的で、DIY (Do It Yourself) 方式での自動化は思うようには進捗していないことがわかりました。



24
通信
サービスプロバイダ
(CSP)



49
エンタープライズ



32
クラウドプロバイダ

アンケートのターゲット層

すべてのセグメントで、データセンターネットワーク自動化のレベルは低い

Day 0、Day 1、Day 2以降の運用で
達成した自動化のレベル (平均)

注目すべき傾向

CSP



CSPのデータセンター戦略と自動化戦略を再検討する主な促進要因は5Gとクラウド

エンタープライズ



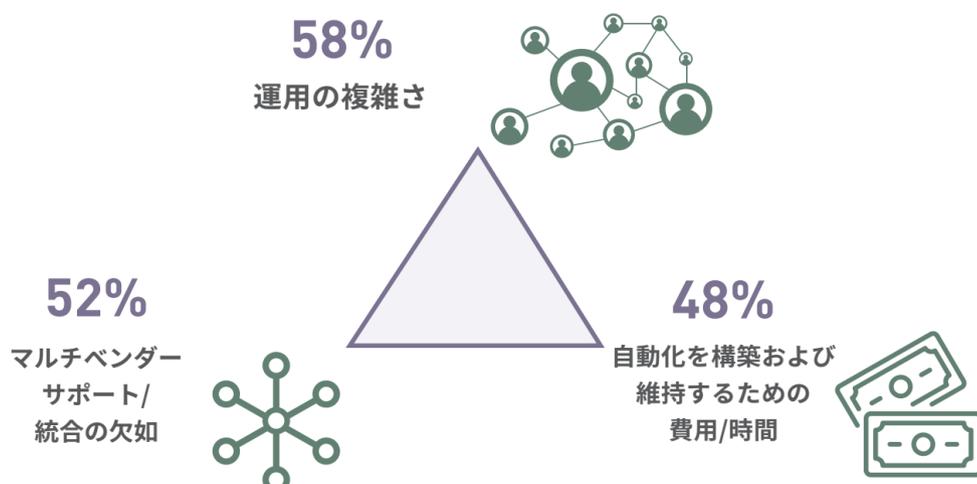
自動化のレベルは同じ業界内でも大きな差があるが、業界が異なってもそれほど大きな差はない

クラウドプロバイダ



小規模から中-規模のクラウドプロバイダは、大規模クラウドプロバイダの俊敏性とカスタマーエクスペリエンスに対抗するために大きなプレッシャーにさらされている

運用の複雑さと、テクノロジー/運用のサイロ化はデータセンターの自動化にとって非常に大きな障害



自動化のニーズを満たし、障害を克服するために企業が主に利用しているのはDIYツール

データセンターネットワーク自動化における自動化ツールの使用率 (平均)



DIYツール (社内開発したソフトウェアプラットフォーム、スクリプティングツール (例: Ansible)、エージェントベースのソリューション (例: Puppet, Chef)、Terraform、シェルスクリプト、その他)

サードパーティーベンダーのソリューション

しかしこうしたツールは、リソースおよびROIに関して大きな課題となることが少なくない

- 1 ソフトウェアライフサイクルを管理するためのリソースが不足 **54%**
- 2 主要な開発スタッフに依存 **42%**
- 3 ROI/総所有コスト **38%**

DIYでの自動化には、隠れた大きな運用コストと自動化を達成するうえでの効率性の悪化が伴う

サードパーティーベンダーに
依頼した企業

DIY方式で自動化した
企業

35-40%

35-40%



自動化のレベル

0-10%

26-50%



DIY方式による自動化のためだけのDC予算

中

非常に高い



ネットワークエンジニアの工数のレベル

11-25%

51-75%



スクリプトを自分で記述しているスタッフの割合

3~6か月ごと

毎日



スクリプトを作成/調整する頻度

アンケートに回答した企業のうち、DIY方式による自動化に十分満足しているのはわずか3%

53%

53%は、サードパーティーベンダーの自動化ソリューションを選択しておけばよかったと考えている

この調査について詳しくは、次のレポートをご覧ください。



CSPのDIYデータセンターのネットワーク自動化：社内での自動化構築の主な動機、課題、真のコスト

クラウドプロバイダのDIYによるデータセンターネットワーク自動化：社内での自動化構築の主な動機、課題、真のコスト

エンタープライズのDIYによるデータセンターのネットワーク自動化：社内での自動化構築の主な動機、課題、真のコスト